

Primoでのコースリザーブの設定

Note

Primo VEを使用している場合、詳細を「[Primo VEの配信サービスの設定](#)」で参照してください。

[メニューに戻る](#)

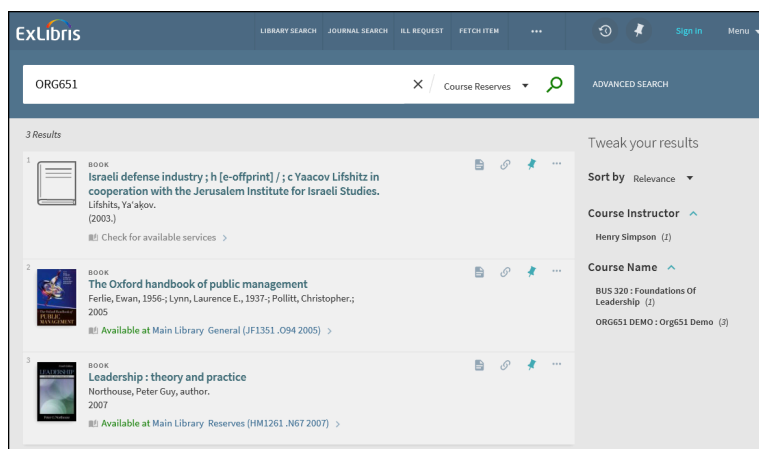
はじめに

AlmaがMARC CNOフィールドに保存されているコース拡充情報（「[AlmaレコードのPrimoへのエクスポート](#)」の「コース情報拡充」パラメーターを参照）を公開するように構成されていない場合、コースリザーブ情報はPrimoには公開されません。（「[Primoへの公開](#)」を参照）。

Primoの正規化ルールは、Almaからのコース情報をマップして、Primoフロントエンドで次の機能を提供します。

- アイテムの簡易表示と完全な表示でコース情報を表示する
- コースリザーブの検索範囲を作成する
- コースリザーブの検索索引を作成する
- コースリザーブのファセットを作成する

構成が完了すると、ユーザーはコース情報を使用して、コースのリーディングリストの一部であるレコードを検索できます。

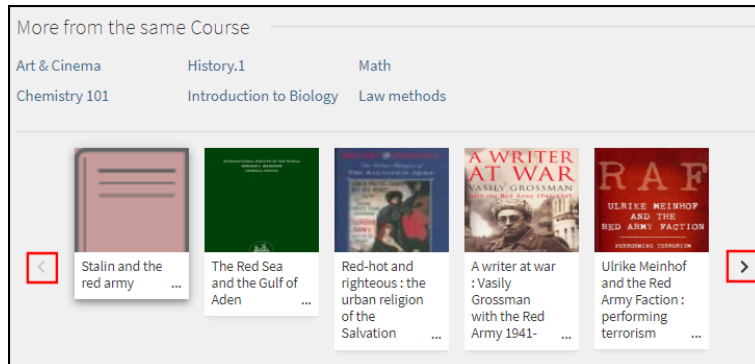


フロントエンドで有効なコースリザーブ

残りのセクションでは、関連する機能と構成について説明します。

同じコースの詳細

[完全な表示]ページの「同じコースの詳細」セクションでは、ユーザーが、現在のタイトルの検索を、現在のタイトルも含む(追加)コースの他のアイテムへと拡張できます。



「同じコースの詳細」セクション

このセクションの上半分には、このタイトルが属するすべてのコースのリストがあります。はじめは最大6つのコースが表示されます。ユーザーは、[すべてのコースを表示]アイコンを選択して、残りのコースを見ることができます。コースがLegantoに関連付けられている場合、ユーザーはそのコースを選択してLegantoで図書リストを表示できます。

このセクションの下半分では、ユーザーはアイテムの関連コースに属するアイテムを閲覧できます。ユーザーは次のいずれかを選択できます。

- 左右の矢印を使用して、アイテムのリストをスクロールする
- リスト内のアイテムを選択して、完全な表示を開く

設定オプション

下表は、この機能を設定するために使われる設定のリストです。

要素	説明
ビューウィザード	新しいPrimo UIでこの機能を有効にするには、ビューウィザードの「一般」セクションで、同じコースの詳細フィールドを選択します。
Ariaラベル	この機能のアクセシビリティをサポートするために、次のコードが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• default.nui.aria.moreFromTheSame.collection.tab : 同じコレクションの詳細に移動する
GetIT!Tab1コードテーブル	この機能をサポートするために、次のコードが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• default.nui.brief.results.tabs.moreCourse : 同じコースの詳細• default.nui.brief.results.tabs.courseTab : コース• default.nui.brief.results.tabs.expandCourses : すべてのコースを表示

要素	説明
正規化ルール	<p>Alma MARCテンプレートとAlma UNIMARCテンプレート正規化ルールでは、コース情報が表示/crsinfoフィールドの次のサブフィールドにマッピングされていますが、これはPrimo UIに表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • \$\$R – コースコードとセクションはCNO \$\$kからマッピングされます。 • \$\$N – コースセクションIDはCNO \$\$iからマッピングされます。 • \$\$M – コース名はCNO \$\$jからマッピングされます。 <hr/> <p>Note</p> <p>[完全な表示]ページの正しいリンク情報を含めるには、コース情報についてローカルな検索フィールドを使用するのではなく、crsinfo、crsname、crsinstrc、crsid、crsdeptといった検索フィールドをマッピングします。</p>

Legantoへのリンク

この機能が有効化された場合、ユーザーがレコードの完全な表示からコースのリンクを選択し、Legantoで関連の図書リストを表示できるようにすることで、PrimoとLeganto間の統合が改善されます。

Details	
Title	The Red Army : fifty questions answered
Author	Ivor Goldsmid Samuel Montagu 1904- >
Subjects	Soviet Union. Raboche-Krestianskaia Krasnaia Armiia >
Publisher	London : Russia Today Society
Creation Date	1941?
Format	23 p. ; 18 cm.
Language	English
Course Information	Art & Cinema > History.1 > Math > Chemistry 101 > Introduction to Biology > Law methods >

コースリンクの完全な表示

設定オプション

この機能はデフォルトでは無効になっています。下表で、この機能に関連する設定オプションのリストを示します。

要素	説明
ビューウィザード	ビューウィザードの[詳細属性の編集]ページにあるコース情報をLegantoにリンクフィールドにより、レコードの完全な詳細にある[コース情報]フィールドからのリンクが有効になります。
テンプレートマッピングテーブル	<p>次のコードは、Almaの顧客のためにLegantoへのリンクを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>leganto_url - {{alma_base}}/leganto/public/{{alma_institution}}/lists?courseCode={{course_code}}&primo=true</code>

要素	説明
正規化ルール	<p>Alma MARCテンプレートとAlma UNIMARCテンプレート正規化ルールでは、コース情報が表示/crsinfoフィールドの次のサブフィールドにマッピングされていますが、これはPrimo UIに表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • \$\$R – コースコードとセクションはCNO \$\$kからマッピングされます。 • \$\$N – コースセクションIDはCNO \$\$iからマッピングされます。 • \$\$M – コース名はCNO \$\$jからマッピングされます。

Primoバックオフィスの設定

PNXおよび正規化ルールはPrimoですぐに使用できますが、ローカルの正規化ルールにコースリザーブルールが含まれていることを確認する必要があります。

PNXの設定

下の表では、Almaからコースリザーブデータをマッピングするために使用されるフィールドのリストを示します。この情報がAlmaからCNOフィールドにマッピングされる方法の詳細については、[「Primoへの公開」](#)を参照してください。

コースリザーブ用の新しいPNXフィールド

セクション	フィールド	コード
表示	<p>コース情報 – crsinfoフィールドは、次のAlma CNOサブフィールドを1行にマージすることで作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • k – コースコード • j – コース名 • l – コースセクション • g – コースインストラクター 	crsinfo
ファセット	<p>コース名</p> <p>コースインストラクター</p> <p>コースID (Almaのコースコードを含む)</p> <p>コース部門 (Almaのコースセクションを含む)</p>	<p>crsname</p> <p>crsinstrc</p> <p>crsid</p> <p>crsdept</p>
検索	<p>コース名(Almaのコース名とコースコードを含む)</p> <p>コースインストラクター</p> <p>コースID (Almaのコースコードを含む)</p> <p>コース部門 (Almaのコースセクションを含む)</p>	<p>crsname</p> <p>crsinstrc</p> <p>crsid</p> <p>crsdept</p>

Note

検索結果に表示フィールドを表示したい場合は、ビューウィザードでビューを変更する必要があります。

コードテーブル設定

下表は、コースリザーブ情報をサポートするために、フロントエンドサブシステムの下のコードテーブルで定義されるコードのリストです。

ファセットラベルコードテーブルの新しいコード

コードテーブル	コード	説明	
ファセットラベル	facets.facet.facet_crsname facets.search-box.facet_crsname	コース名	
	facets.facet.facet_crsinstrc facets.search-box.facet_crsinstrc	コースインストラクター	
	facets.facet.facet_crsid facets.search-box.facet_crsid	コースID	
	facets.facet.facet_crsdept facets.search-box.facet_crsdept	コース部署	
	ファセットコードフィールド	facet_crsname	コース名
		facet_crsinstrc	コースインストラクター
		facet_crsid	コースID
		facet_crsdept	コース部署
高度な索引フィールドと 基本索引フィールド	crsname	コース名	
	crsinstrc	コースインストラクター	
	crsid	コースID	
	crsdept	コース部署	
フロントエンド表示フィールド	crsinfo	コース情報	
完全な表示ラベル	fulldisplay.crsinfo	コース情報	

正規化ルール

コースリザーブ情報のマッピングを可能にするため、次のルールがAlma MARC正規化ルールのテンプレートに含まれています。追加の正規化ルールについては、[「Alma MARC21のテンプレート」](#)を参照してください。

- **ディスプレイセクション：**

ルールは、次のフォーマットを使用して、**crsid**、**crsname**、**crsdept**、および**crsinstrc**フィールドを**crsinfo**フィールドに連結します。

<コースID> : <コース名> ; <コース部門> ; <コースインストラクター>

例：

PSYCH 101 : Introduction to Psychology ; 01 ; Bube, Kenneth P.

- **ファセットセクション：**

下表で、コースリザーブ情報をPNXのファセットセクションにマッピングするルールのリストを示します。

新しいファセット正規化ルール

フィールド	ルール
ファセット/コース名	MARC CNOフィールドのサブフィールドjからデータを取得する 変換：そのままコピー
ファセット/コースインストラクター	MARC CNOフィールドのサブフィールドgからデータを取得する 変換：そのままコピー
ファセット/コースID	MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：そのままコピー
ファセット/コース部署	MARC CNOフィールドのサブフィールドlからデータを取得する 変換：そのままコピー

- **検索セクション：**

下表で、コースリザーブ情報をPNXの検索セクションにマッピングするルールのリストを示します。

新しい検索正規化ルール

フィールド	ルール
検索/コース名	1. MARC CNOフィールドのサブフィールドjからデータを取得する 変換：そのままコピー 2. MARC CNOフィールドのサブフィールドjからデータを取得する

フィールド	ルール
	<p>変換：スペースを削除 + 句読点を削除 + そのままコピー</p> <p>3. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：そのままコピー</p> <p>4. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：スペースを削除 + 句読点を削除 + そのままコピー</p> <p>5. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：スペースを削除</p> <p>6. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：句読点を削除</p>
検索/コースインストラクター	<p>MARC CNOフィールドのサブフィールドgからデータを取得する 変換：そのままコピー</p>
検索/コースID	<p>1. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：そのままコピー</p> <p>2. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：スペースを削除</p> <p>3. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：句読点を削除</p> <p>4. MARC CNOフィールドのサブフィールドkからデータを取得する 変換：スペースを削除 + 句読点を削除</p>
検索/コース部署	<p>MARC CNOフィールドのサブフィールドlからデータを取得する 変換：そのままコピー</p>
検索/検索範囲	<p>MARC CNOフィールドのサブフィールドaからデータを取得する 変換： マッピングテーブルを使用：Alma機関コード 文字列の最後に追加：_CR</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 新しい検索範囲は<institution>_CRになります。 ◦ MARC CNOフィールドデータが存在する場合、レコードが検索範囲に追加されます。 <hr/>